

第 4 回世界水フォーラム

第 4 回世界水フォーラムの概要

2006 年 3 月 16 日から 22 日まで、メキシコ・シティにおいて第 4 回世界水フォーラムが開催されました。

約 140 ヶ国から約 1 万 9 千人の各国政府、国際機関、民間企業、NGO、研究機関等の関係者が参加し、"Local Actions for a Global Challenge"(世界の水問題解決のために、地域の行動を)をテーマに、200 以上のセッション等に別かれて議論が繰り広げられました。

16 日の開会式には皇太子殿下が御出席され、挨拶を述べられ、翌 17 日には「江戸と水運」と題した基調講演をされました。併行して開催された閣僚級国際会議では、第 3 回世界水フォーラムを機に日本政府が立ち上げた水行動集のウェブサイトが新たに国連主導の CSD-WAND として統合されることとなり、江崎国土交通副大臣がこの立ち上げ式典に参加し、日本の貢献について報告しました。

また、江崎国土交通副大臣は日中韓三国共同セッションの閉会セレモニーにおいて、今後の水分野での一層の協力を確認したほか、韓国建設交通部のキム・ヨン ドク次官と会談しました。

閣僚級国際会議

メキシコ政府主催による閣僚級国際会議が、3 月 21 及び 22 日の 2 日間、メキシコ・シティのパナメックスセンターにおいて開催されました。全体としての成果は、今次フォーラムのテーマである「地球規模の課題のための地域行動」の下、持続可能な開発に向けた水問題の重要性、国際合意や約束のさらなる推進のための今次フォーラムの貢献等について謳った閣僚宣言が採択された。

・[閣僚宣言](#)(外務省第 4 回世界水フォーラムサイト)